

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. 1108

科目概要記入欄

| | | | | | | |
|--------------------|---|--------------------------|-------------------|------------|------------|-----------|
| 1. 開設大学名 | 広島経済大学 | | 科目開講 キャンパス | 本学 | | |
| 2. 科目名 | 正式科目名 | 電子金融取引 I | | | クラス名 | |
| | 副題 | 情報技術と決済システムの基礎に ついて学ぶ | | | 配当年次 | 3 |
| | 旧科目名 | | | | | |
| | 学問分野 | 番号 | 27 | 名称 | 社会科学系, その他 | |
| | サテライトで開講される科目の科目群 | | | A 群 | B 群 | |
| 3. 担当教員名 | 久保 大支・ビジネス情報・助教 | | | | | |
| 4. 単位数 | 2 単位 | | 5. 開講学期 | 前期 | | |
| 6. 開講期間 曜日・時間 | 2018 年 4 月 17 日 (火) ~ 2018 年 7 月 24 日 (火) 火曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 | | | | | |
| 個別開講日 | 1 回目 4/17 | 2 回目 4/24 | 3 回目 5/1 | 4 回目 5/8 | 5 回目 5/15 | 6 回目 5/22 |
| | 7 回目 5/29 | 8 回目 6/5 | 9 回目 6/12 | 10 回目 6/19 | 11 回目 6/26 | 12 回目 7/3 |
| | 13 回目 7/10 | 14 回目 7/17 | 15 回目 7/24 | 16 回目 | 試験日 | / |
| 7. 基礎知識の有無 | 2. 「基礎知識を必要としない科目」 | | | | | |
| 8. 募集人数 (総授業定員) | 制限なし (人) | | 9. 定員超過時の 選考方法 | なし | | |
| 10. 科目内容・ 授業計画 | <p>1. 授業内容</p> <p>情報技術(IT)革命の進展は、金融サービス・金融市場においても急速に様々な構造的変化をもたらしています。本講義では、このようなサービスや市場における電子的な取引について、理論的な分析と実際のケーススタディの両面から考察するためのベースとなる基本的な金融理論、金融知識について学修します。</p> <p>そしてこれらを、LMS(Learning Management System)を通して課される毎回の「講義のまとめ」やトピックごとに課される課題とそのフィードバックの確認により、より深めます。</p> <p>2. 授業計画</p> <p>第 1 回 Ch.0 イントロダクション: 講義概説, 成績評価法, 目的と方法論 Ch.1 貨幣と金融取引(1): 経済主体と経済活動, 貨幣の起源 (rep.1)</p> <p>第 2 回 Ch.1 貨幣と金融取引(2): 貨幣の機能, 金融取引の基礎概念 (rep.2)</p> <p>第 3 回 Ch.1 貨幣と金融取引(3): 家計の金融行動 (rep.3)</p> <p>第 4 回 Ch.1 貨幣と金融取引(4): 企業の金融行動, 市場均衡 Ch.2 金融取引と不確実性(1): リスクの存在とリスク下の金融行動</p> <p>第 5 回 Ch.2 金融取引と不確実性(2): 家計の資産選択問題 (rep.4)</p> <p>第 6 回 Ch.2 金融取引と不確実性(3): 企業の資本構成問題 Ch.3 金融市場と金融取引(1): 金融市場の分類と機能の概要 (rep.5)</p> <p>第 7 回 Ch.3 金融市場と金融取引(2): 短期金融市場と資本市場</p> | | | | | |

| | | | |
|---------------------------|---|---|---|
| 10. 科目内容・ 授業計画 | <p>第 8 回 Ch.3 金融市場と金融取引(3): インターバンク市場, オープン市場 (rep.6)</p> <p>第 9 回 Ch.4 決済システムと金融取引(1): 決済の定義, 決済と決済システム,</p> <p>第 10 回 Ch.4 決済システムと金融取引(2): 各種の決済手法</p> <p>第 11 回 Ch.4 決済システムと金融取引(3): 決済リスク(rep.7)</p> <p>第 12 回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(1): これまでの歴史と現状</p> <p>第 13 回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(2): 現在の法制度 (rep.8)</p> <p>第 14 回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(3): これからの制度の在り方, 消費者保護とプライバシー</p> <p>第 15 回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(4): とセキュリティ, 電子署名, (rep.9)</p> | | |
| 11. 試験・評価方法 | <p>定期試験を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題は, A=10 点, B=8 点, C=6 点(以上が合格), 再提出(不合格)の 4 段階で評価します。 ・最終的な成績は課題・小テスト: 40%, 定期試験(参照不可): 60%の比率で総合的に評価します。 ・以上にかかわらず課題未提出(不合格含む)3 回以上で単位認定不能とします。 | | |
| 12. 別途負担費用 | ありません。 | | |
| 13. その他特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子金融取引 I のより現実的な応用を知るために, 後期に開講される電子金融取引 II とセットで履修することが望まれます。 ・①授業への参加, ②終了時アンケート, ③授業のまとめの提出をもって「出席」とみなします。 ・遅刻は 2 回で 1 回の欠席とみなします。 | | |
| 14. サテライト科目の 社会人受講について | 科目等履修生(単位付与)として受け入れ | 可 | 否 |
| | 聴講生(単位認定不要)として受け入れ | 可 | 否 |